森のひろば
フォレスト・ニュース
NO.1058
26年4月
近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋 1-8-75　TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

トピックス

林業経営モデル林における国有林と民有林の一体的な管理経営に関する取組みについて

【森林整備部 森林整備課】　近畿中国森林管理局では、平成25年度重点目標により取り組むこととしている「近畿中国局の特性を踏まえた国有林と民有林の一体的な管理経営の検討」に向けて林業経営モデル林検討委員会を設置しました。委員には、学識経験者として長谷川尚史京都大学森林資源利用学科准教授、車両系作業システムの有識者として（有）向井林業向井王則氏、架線系作業システムの有識者として山長林業（株）松本富叔氏、路網作設の有識者として（株）森林コンサルタント壁野宏司氏と局署において作業システム、路網作設を担当する職員で構成され、モデル林が所在する岡山県と和歌山県の担当課長にもオブザーバとして参画頂き、地域の実情を踏まえつつ、4回の検討委員会（その内岡山署・和歌山署管内で現地検討会）を開催し、一定の方向性を取りまとめ、先般報告会も開催したところです。

検討委員会においては、国有林を中心に近隣の民有林を含めた地域の森林経営を広域的にとらえ、地形に応じた作業システムの選択を念頭に置いた路網配置を一体的に検討することによって、儲かる林業の地域モデルを構築し、地域林業の活性化の一路となればとの思いで取組みました。

【山ノ神谷・深山モデル林】

取組みにあたり、今回モデルとなった岡山署（山ノ神谷・深谷モデル林）、和歌山署（宮城川モデル林）の現地での検討では、地形・地質等について、現地状況を十分把握する中で、路網の配置や作業システムの導入にあたっての検討を行いました。

【宮城川モデル林】

その結果、両モデル林ともに、路網配置を適切に行うことにより、木材を低コストで効率的に搬出できる区域が広がり、試算ではありますが、コスト的にもプラス収支が得られる結果となりました。

【山ノ神谷・深山モデル林】

平成26年度以降については、両モデル林での事業展開を通じて、「①活用できる成熟した資源があるにもかかわらず、路網整備の遅れによりアクセスできず資源として利用できない」、「②森林の所有者が細分化しており施業集約が困難」、「③搬出した木材の販路が確立されていない」など諸課題の検証を行うなど、管内の全署等での取組みを視野に展開していく考えです。

今回の検討結果については、報告書として近々にホームページで公開する予定としております。

ニュース

抵抗性クロマツを植樹
～安宅林国有林にて32回植樹祭～

【石川森林管理署】　３月６日（木）、当署管内の安宅林国有林７１は林小班（所在地：石川県小松市）において、植樹祭を開催しました。

安宅林国有林は一部では樹齢 100 年を越えるクロマツが生育し、見事な景観を有していますが、近年松くい虫による被害が急速に拡大しており、その対策として「松くい虫防除対策事業」による薬剤散布での防除や被害木の伐倒駆除を行い、被害拡大防止に努めています。また、被害跡地には「抵抗性クロマツ」を植栽し、海岸林の植生回復に努めています。

植樹祭は、これらの取組みを多くの方々に知っていただき、また、松林回復の協力を広く求めて、ボランティアによる抵抗性クロマツの植樹を実施したもので、今回で 32 回目の植樹祭となります。

当日は、関係諸団体として石川県・小松市の林務担当者、森林組合や地元の町内会長、職員 OB など 50 名の方々が出席しました。

先ず初めに、署長の開会挨拶の後、森林管理署職員による植え付け指導を行い、出席者は各自スコップを持ち植樹作業に当たりました。

海風が強く３月上旬としては肌寒い天気の中、300 本の抵抗性クロマツの苗木を植栽しました。参加者の方からは「以前の植樹祭にも参加したことがあり、自分が植えた苗木の成長を見に現地へ行くことがある。今回植えた苗木も順調に育っていくように願っています」との言葉をいただきました。

作業終了後は現地で記念写真を撮影し和気藹々の内に、無事作業を終了することができました。

「しそうの森連携協定書」に調印

【兵庫森林管理署】　３月１８日（火）、宍粟市役所市長室において「しそうの森連携協定」の締結式が執り行われました。

宍粟市では、市内の森林林業関係７団体（宍粟市・兵庫森林管理署・兵庫県西播磨県民局光都農林水産振興事務所・兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター・しそう森林組合・兵庫県立山崎高校・兵庫県立山の学校）で構成する「地域林業振興等にかかる懇談会」を開催しており、各機関がそれぞれの立場から施策の情報提供や互いに共有する課題等について意見交換を行っています。

この懇談会を重ねる中で、兵庫県立山の学校と兵庫県立山崎高校からの「生徒の実習場所がないので実習場所を提供して欲しい」との要請から、宍粟市の市有林や国有林について、実習内容によりフィールドを提供していくこととなり、この要請をきっかけに、それぞれの連携・協力を強固なものにし、各機関の目的や目標の達成、活動の活性化と林業の振興を行うため、協定書を締結することとなりました。

宍粟市は兵庫県内随一の森林・林業の街ですが、他の地域同様、過疎化・高齢化が深刻となっており、この協定締結を契機に、将来の兵庫県の林業を担う林業後継者の育成と、高校生や青少年の心と体を育成していくことを目指しており、これらの若者が地域の担い手として定着していくことが期待されます。

宍粟市は平成２６年度以降、これまで以上に森林、林業の再生に取り組もうとしており、兵庫森林管理署としても、林業再生と地域活性化に向けて連携を強めていきます。

「気比の松原１００年構想」動き出す

【福井森林管理署】　３月１日（土）の午前、大阪から「NPO法人自然と緑」一行約５０名が、「気比の松原１００年構想」に基づく取組みを行っている気比の松原を訪れました。

福井森林管理署の次長（樹木医資格取得者）が、「松原を維持するためには広葉樹の伐採や松葉かきなど人手をかけて植生遷移を止めなければならない。」ことなどを説明しながら、参加者全員で松葉かきを実施しました。今回は、気比の松原の“玄関”となる松陵中学校交差点（松島町交差点）付近において天然更新のマツが育つことを期待して、厚く堆積した落ち葉を次々に取り除きました。

また、３月１日（土）～２（日）の２日間、福井県敦賀市内にて「白砂青松再生の会」の大会が開催されました。

初日は、松原公民館において研究発表会があり、全国各地で森林再生に取組む環境団体や樹木医等によるマツ保全に関する発表があり、会員及び一般市民約７０名が熱心に聴講しました。

また、２日目は気比の松原において、参加した樹木医によって老齢マツの樹勢回復のための一つの方法である木炭埋設工の施工や、マツの再生方法についての活発な討議が行われました。

お知らせ

映画『WOOD JOB！』５月１０日 封切り

映画、『WOOD　JOB！』とのタイアップによるポスターが、完成しました。

この映画は、お気楽都会育ちの若者が、様々な人間模様と共に、林業に奮闘して成長していくお話です。「緑の雇用制度」をモチーフにした作品です。

５月１０日より公開されます。林業を題材とするこの映画を通じて、森林・林業・木材利用に対する関心をもっていただけたらと期待しています。

「平成26年度国有林モニター」が決定しました！

国有林モニター制度は、国有林の事業運営等について、国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させることを目的としています。

平成２６年度については、応募・同意をいただきました６５名（男性３９名、女性２６名）の方に「国有林モニター」として活動いただくこととなりました。

森林（もり）のギャラリー（局庁舎１階）

【４月の展示スケジュール】

テーマ：木づかいを楽しもう

4/1～4/11　「春の結び展２０１４」【結び遼會】

4/5～4/11　「京都京北の木工品の展示」
（５日イベント開催）【京北木材業協同組合】

4/12～4/18　「手にあたたかい杉の木工品」
【津山地区木材組合】

4/14～4/30　「西粟倉村　百年の森林づくり」
【西粟倉村】

花草木

今号はサンシュです。

別名ハルコガネバナ　分類は、ミズキ科ミズキ属

中国や朝鮮半島の原産で、江戸時代（1722年頃）に薬用として渡来したといわれています。

2～3月に葉に先立って、枝にいっぱいに黄色い花（散形花序）を付けます。1つの花序には、小さな黄色の花が20～30個付き、花弁と雄しべは4つあり、別名ハルコガネバナと呼ばれています。

秋には、グミのような長さ1.4cmほどの楕円形の果実が付き、赤く美しいことから「アキサンゴ」とも呼ばれています。

また、果実は食べることができ、噛むと、渋味や甘酸っぱい味がし、強壮薬として、煎服あるいは、果実酒として服用します。

シリーズ　保護林　第10回

近畿中国森林管理局の保護林

黒河山林木遺伝資源保存林

↑　ブナ林内に
天然のスギが生育

林床に咲く　→
ナツエビネ

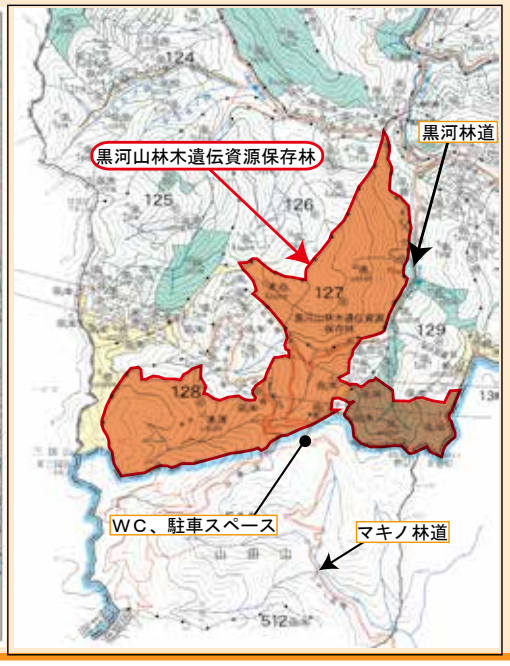
黒河山林木遺伝資源保存林は、福井県敦賀市の滋賀県との県境に位置する黒河山国有林内にあります。天然のブナ、スギ、ミズナラ、イヌシデなどの遺伝資源を保存するために保護しています。

この保護林の面積は９３．０５ha で、水源かん養保安林や特別母樹林などにも指定されています。

県境には登山道（高島トレイル）が整備されています。高島トレイル沿いには三国山（876.3 m）、乗鞍岳（866.0 m）、赤坂山（823.8 m）などがあり、休日には多くの登山者が訪れます。

【黒河山林木遺伝資源保存林に生息・生育する動植物】
◎植物：ブナ、スギ、ミズナラ、コハウチワカエデ、タンナサワフタギ、ウスギヨウラク、トクワカソウ、オオバキスミレ、エビネ類など
◎動物：ツキノワグマ，ニホンジカ，アオゲラ，オオルリ，ヤマガラなど

【黒河山林木遺伝資源保存林へのアクセス】
◎福井県敦賀市から・・・県道２１１号線を南下し黒河林道へ。福井県と滋賀県の県境にトイレ・駐車スペースあり。
◎滋賀県マキノ町から・・県道２８７号線でマキノ町役場前を通過し、白谷で県道５３３号線へ。
途中左手にマキノ林道への入口があり、マキノ林道を北上して福井県と滋賀県の県境へ。



【保護林及び国有林内での注意事項】
★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。
★ツキノワグマ生息域です！熊鈴をつけるなど、装備は万全にしてください。